



Cisco Spaces: Smart Workspaces ソリューション連邦サポートガイド

First Published: 2026-02-28

Last Modified: 2026-04-08

Americas Headquarters

Cisco Systems, Inc.
170 West Tasman Drive
San Jose, CA 95134-1706
USA
<http://www.cisco.com>
Tel: 408 526-4000
800 553-NETS (6387)
Fax: 408 527-0883

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2026 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



はじめに

ここでは、このマニュアルの対象読者、構成、および表記法について説明します。また、他のマニュアルの入手方法についても説明します。

ここでは、次の項について説明します。

- [対象読者, on page iii](#)
- [表記法, on page iii](#)
- [略語の一覧, on page iv](#)
- [関連資料, on page v](#)
- [通信、サービス、およびその他の情報, on page v](#)

対象読者

このドキュメントは、Cisco Spaces: Smart Workspaces アカウントの有効化の担当者を対象としています。このドキュメントの対象者は、主に次のとおりです。

- ハイブリッドワーク体験を有効にできる Cisco Spaces アカウント管理者
- 従業員体験を向上させるためにワークスペース施設を改善できるビル管理者
- Smart Workspaces を展開する IT およびネットワーク管理者
- Webex および Meraki テクノロジーの設定を担当するシステム管理者

表記法

このマニュアルでは、以下の表記法を使用しています。

Table 1: 表記法

表記法	説明
太字フォント	コマンド、キーワード、およびユーザーが入力するテキストは太字で記載されます。 コマンド、コマンド オプションおよびキーワードは太字で示しています。
イタリック体	文書のタイトル、新規用語、強調する用語、およびユーザーが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
[Option] > [Option]	GUI の一連のメニュー手順を説明するために使用されます。

読者への警告の表記法

このマニュアルでは、読者への警告に次の表記法も使用しています。



Note 次の情報に、役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料が含まれていることを意味します。



Tip 「問題解決に役立つ情報」です。



Caution 注意が必要であることを意味します。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

略語の一覧

Table 2: 略語の一覧

略語	説明
BLE	Bluetooth Low Energy
RSSI	受信信号強度インジケータ
SSID	Service Set Identifier
UUID	汎用一意識別子

関連資料

- [Release Notes for Cisco Spaces](#)
- [Cisco Spaces コンフィギュレーション ガイド](#)
- [Cisco Spaces に関するすべてのサポートドキュメント](#)

Cisco Spaces ソリューションの詳細については、<https://cisco.com/go/spaces> に移動してください。

通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[Cisco Services](#) [英語] にアクセスしてください。
- サービスリクエストを送信するには、[Cisco Support](#) [英語] にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco DevNet](#) [英語] にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) [英語] にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

シスコバグ検索ツール

[シスコのバグ検索ツール](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

マニュアルに関するフィードバック

シスコの技術マニュアルに関するフィードバックを提供するには、それぞれのオンラインドキュメントの右側のペインにあるフィードバックフォームを使用してください。

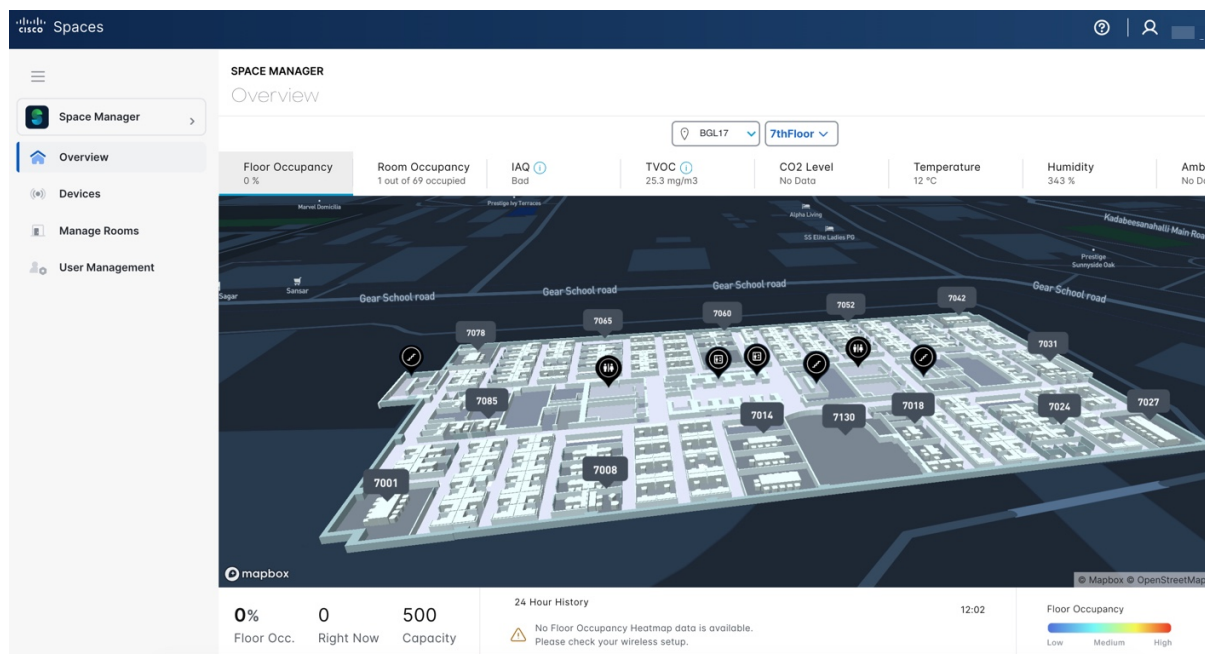


CHAPTER 1

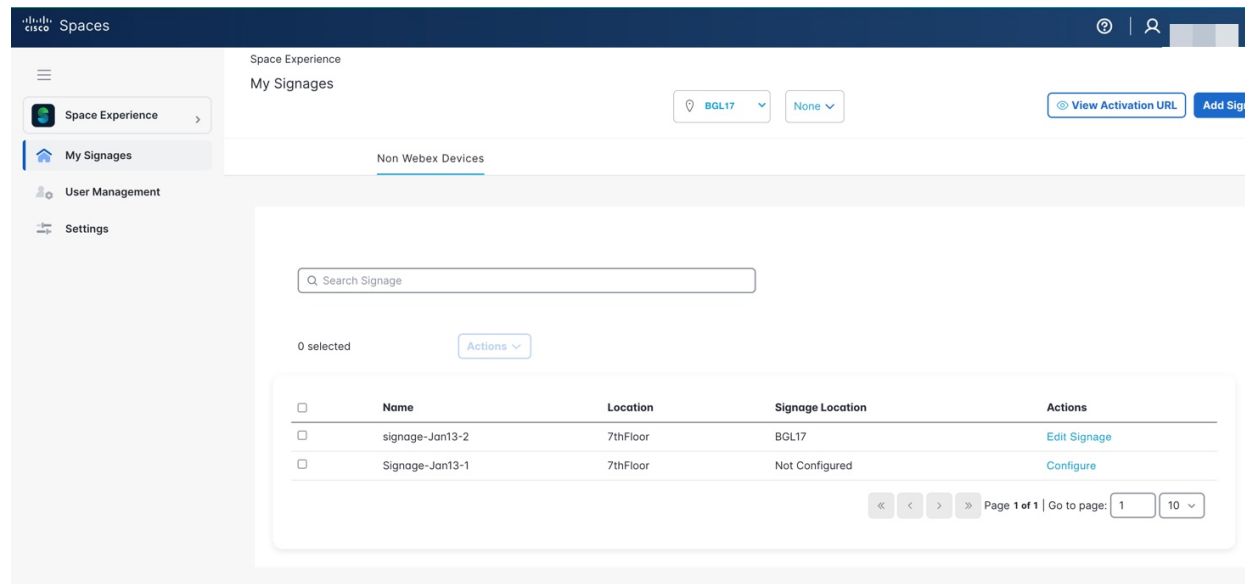
Cisco Spaces: Smart Workspaces の概要

Cisco Spaces: Smart Workspaces ソリューションでは、**Space Experience** や **Space Manager** などのアプリケーションを通じて、オフィス施設のハイブリッドワークが可能になります。このソリューションは、従業員と施設マネージャの両方に、迅速かつ簡単なオンボーディング体験を提供します。

- **Space Manager** アプリケーションでは、会議室の収容人数や空き状況などのリアルタイムの占有率データにアクセスできます。また、このアプリケーションでは、周囲の温度、湿度、電波品質、ノイズなどの環境関連のテレメトリも表示されます。



- **Space Experience** アプリケーションを使用すると、Cisco Spaces を通じて建物やフロア全体のサイネージを有効にすることができます。



- [ライセンス要件, on page 2](#)

ライセンス要件

Space Experience と **Space Manager** の両方のアプリケーションが、次のライセンスタイプに紐付けられています。

- ACT (UI では [Advantage] と表示)
- UNLIMITED
- PREMIER_W
- PREMIER_CW



CHAPTER 2

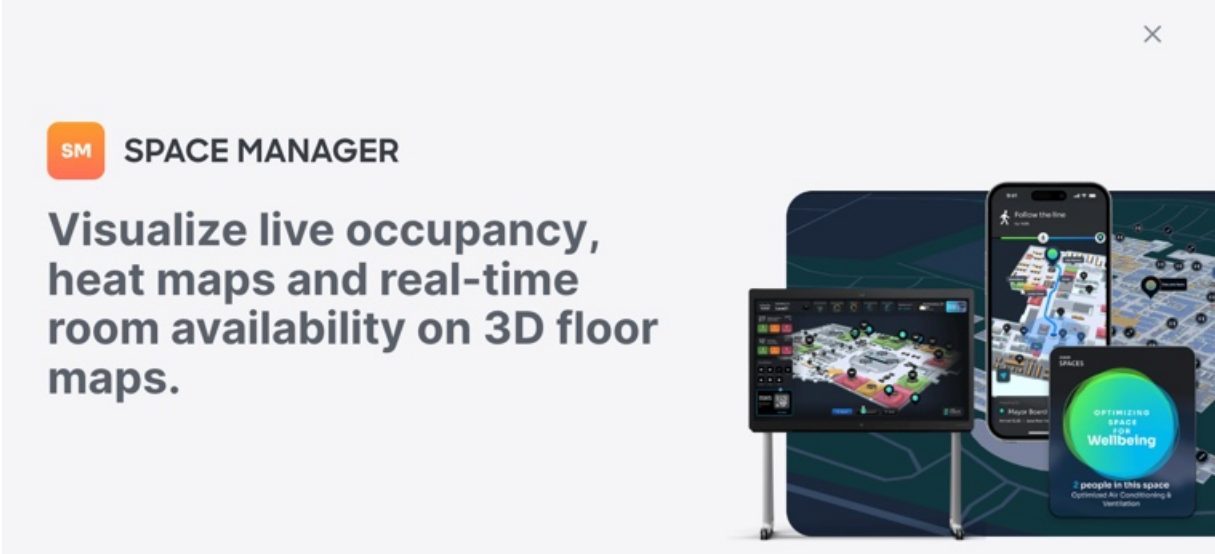
Space Manager

- [Space Manager の概要, on page 3](#)
- [デバイスの管理, on page 5](#)
- [部屋の管理, on page 6](#)
- [ユーザーの管理, on page 15](#)

Space Manager の概要

Space Manager アプリケーションを使用すると、施設マネージャは、Cisco Meraki、Cisco IoT デバイスおよびセンサーなどの統合デバイスをワークスペースで設定し、会議室の収容人数や空き状況などのリアルタイムの使用状況データにアクセスすることができます。

Figure 1: Space Manager



SM SPACE MANAGER

Visualize live occupancy, heat maps and real-time room availability on 3D floor maps.

About the App

Visualize live occupancy and environmental conditions across your building with dynamic 3D maps. Instantly identify underused areas, crowded zones, or comfort issues by tracking room capacity, air quality, temperature, humidity, and noise. Add, edit, or remove devices and sensors and update workspace metadata such as name, type, and capacity – all in one place.

[Close](#) [Open App](#)

また、このアプリケーションでは、周囲の温度、湿度、空気質、ノイズなどの環境関連のテレメトリも、会議室、フロア、または建物の 3D デジタルマップに表示されます。

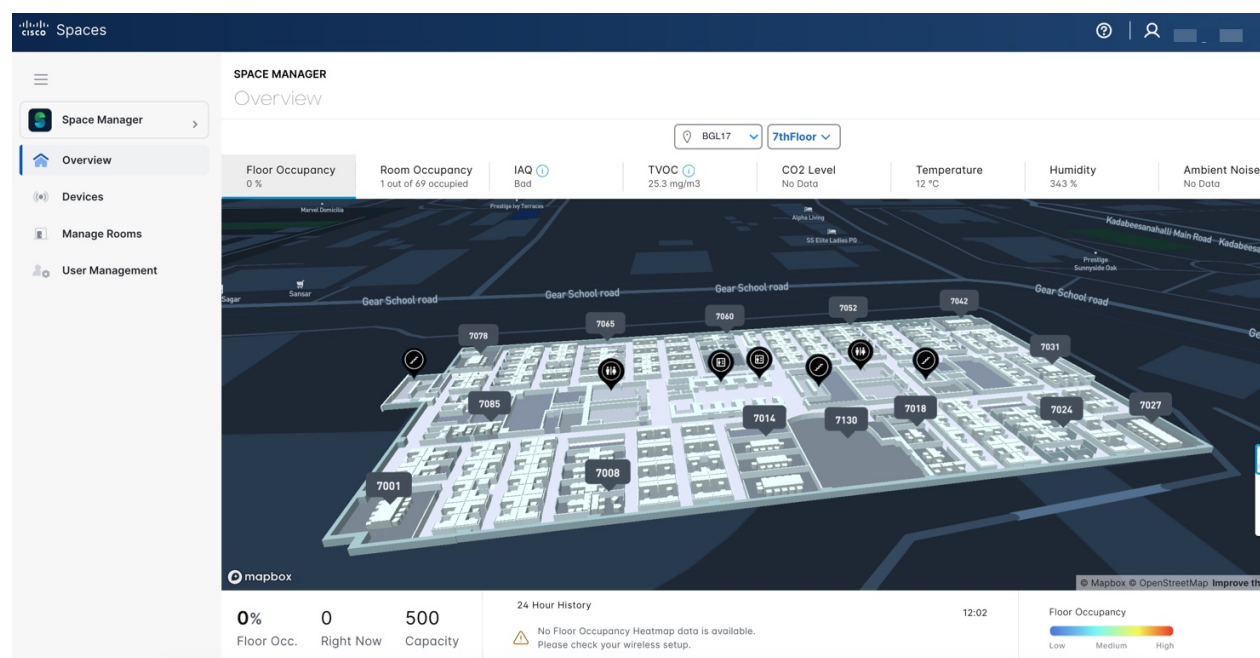
- [デバイス (Devices)] セクションでは、設定されたデバイスとそのテレメトリの詳細をデジタルマップに表示できます。
- [部屋の管理 (Manage Rooms)] セクションでは、設定された会議室の数とその詳細、例えば関連付けられているデバイスの数などを表示できます。選択した会議室のデバイスを追加または削除することもできます。

- [User Management] セクションでは、すべての **Space Manager** ユーザーと割り当てられたロールのリストを表示できます。また、特定のキャンパス、Meraki組織、建物、またはネットワークにユーザーを招待するオプションもあります。

Space Manager アプリケーションは、次のライセンスタイプに関連付けられています。

- ACT (UI では [Advantage] と表示)
- UNLIMITED
- PREMIER_W
- PREMIER_CW

Figure 2: Space Manager アプリケーション



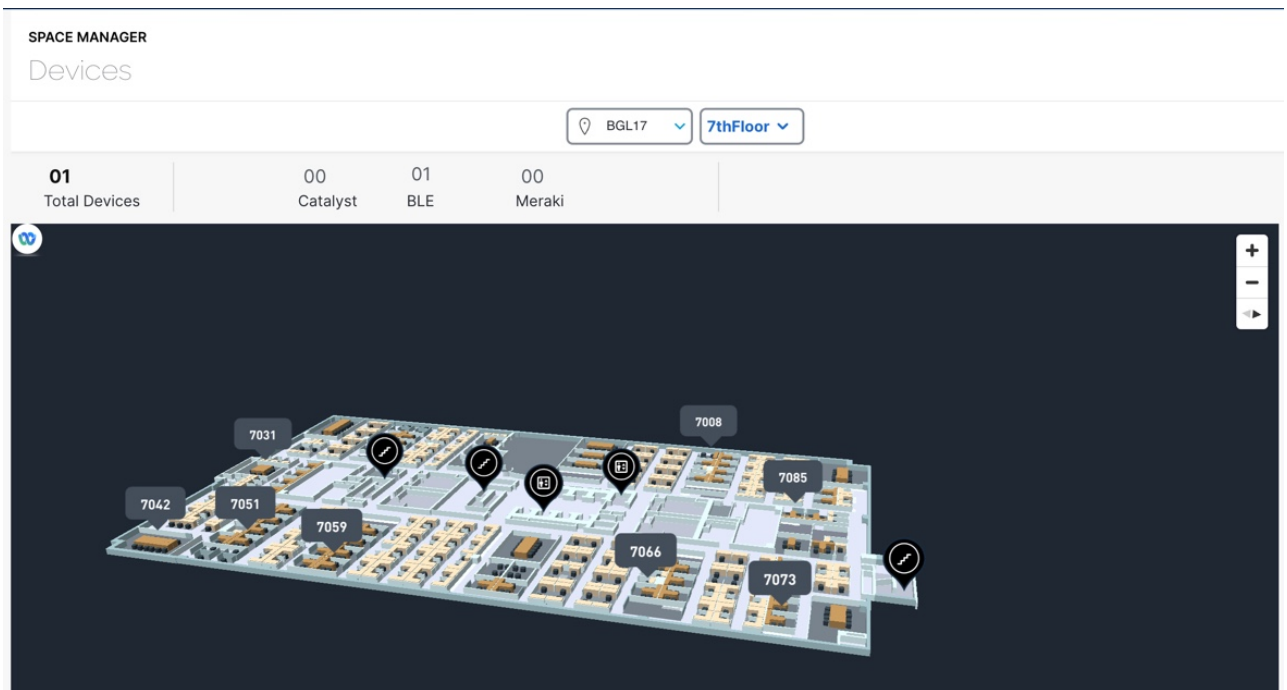
デバイスの管理

Procedure

- Step 1** Cisco Spaces で、[ダッシュボード (Dashboard)] > [Space Manager]を選択します。
[Space Manager] ウィンドウが表示されます。
- Step 2** 左側のペインで、[Devices] をクリックします。
- Step 3** フィルタオプションのドロップダウンリストから、建物とフロアを選択します。
- Step 4** 以下のデバイスの詳細を表示します。

- Total Devices
- Catalyst
- BLE
- Meraki

Figure 3: デバイス



部屋の管理

Space Manager アプリケーションの [部屋の管理 (Manage Rooms)] ページで、建物またはフロア内のさまざまな部屋に関する情報を表示できます。

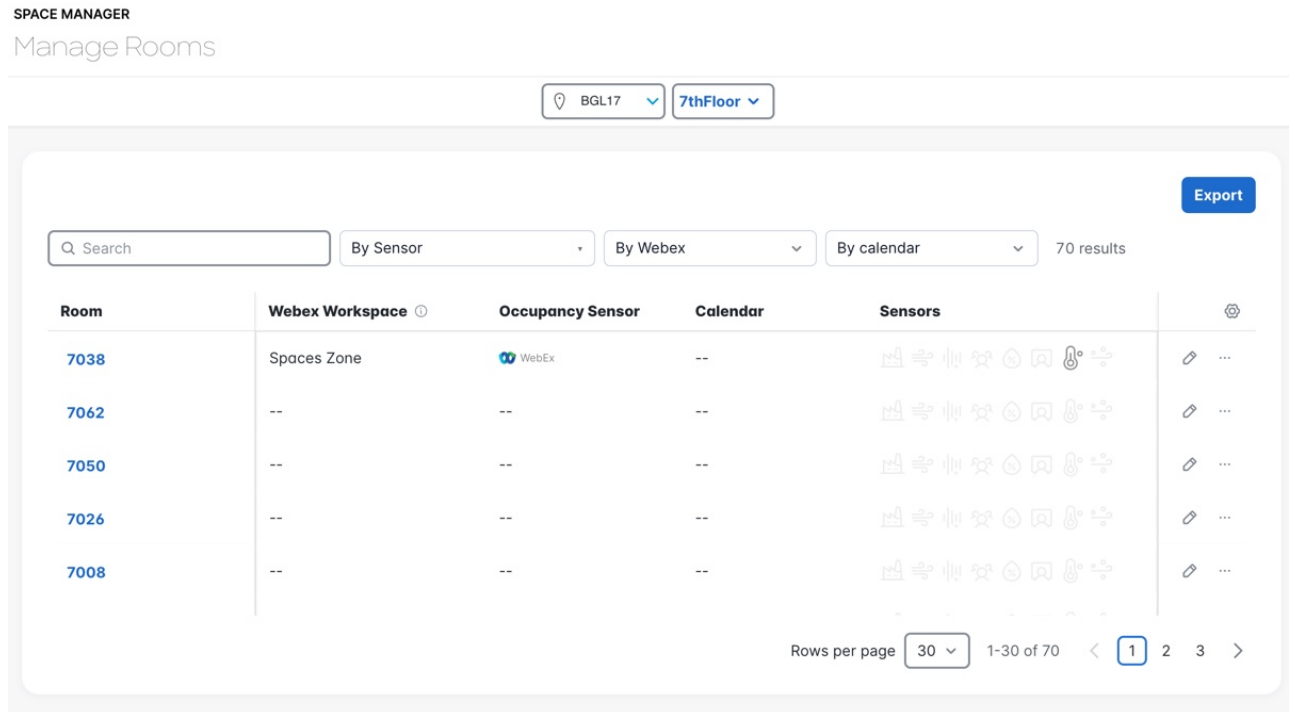
選択した部屋について、[キャパシティ (Capacity)] および [タグ (Tags)] のメタデータを部屋の詳細に追加して、追加情報を確認できます。これらの変更は、ユーザーが部屋をより効率的に管理できるようにすることを目的としています。

Procedure

- Step 1** Cisco Spaces で、[ダッシュボード (Dashboard)] > [Space Manager] を選択します。
[Space Manager] ウィンドウが表示されます。

Step 2 左側ペインで、[部屋の管理（Manage Rooms）] をクリックします。

Figure 4: 部屋の管理



Step 3 [部屋の管理（Manage Rooms）] ページに、設定済みの部屋の一覧を含むテーブルが表示されます。
次のパラメータに関する設定情報を表示できます。

- Webex ワークスペース
- 人感センサー
- カレンダー
- センサー

[検索（Search）] フィールドを使用して、会議室を検索します。

Step 4 フィルタオプションのドロップダウンリストから、建物とフロアを選択します。

Step 5 レコードをフィルタ処理するには、次のドロップダウンリストのいずれかをクリックします。

- [センサー別（By Sensor）]: 必要なセンサーフィルタオプションを選択します。
- [Webex別（By Webex）]: 必要なフィルタオプションを選択します。
- [予定表別（By calendar）]: 必要なフィルタオプションを選択します。

Step 6 [エクスポート（Export）] をクリックして、部屋の詳細を CSV 形式でエクスポートします。

Step 7 必要に応じて以下を実行します。

- これらのパラメータのいずれかを編集するには、[編集 (Edit)] アイコンをクリックします。
 - 3つのドットをクリックすると、[IoTセンサーの追加 (Add IoT Sensors)] および [Webexワークスペースの切断 (Disconnect Webex Workspace)] オプションが表示されます。
- [IoTセンサーの追加 (Add IoT Sensors)] をクリックして、センサーデバイスを追加します。詳細については、[IoT センサーの追加, on page 11](#) を参照してください。
- [設定 (Settings)] アイコンをクリックして、表示オプションをリセットまたはフィルタ処理します。詳細については、[テーブルの設定, on page 13](#) を参照してください。

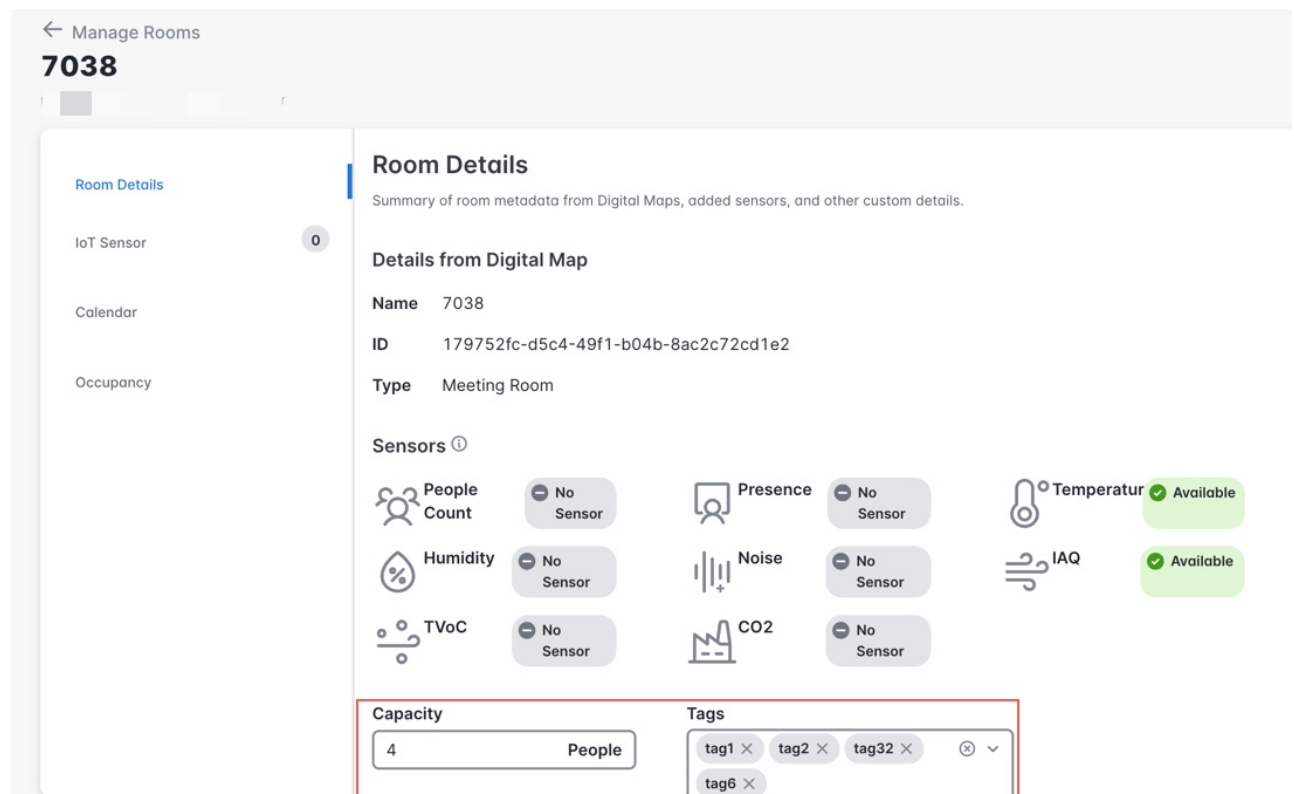
Step 8

部屋をクリックすると、デジタルマップ、追加されたセンサー、およびその他の関連情報に基づいて、部屋のメタデータの概要が表示されます。

左側のペインには、以下のオプションが表示されます。

- 部屋の詳細
- IoT センサー
- カレンダー
- 占有率

Figure 5: 部屋の詳細

**Step 9**

[部屋の詳細 (Room Details)] セクションでは、選択した部屋に関する次の操作を実行できます。

- [キャパシティ（Capacity）] フィールドに収容人数を入力します。
- 使用可能なタグのリストを表示するには、[タグ（Tags）] フィールドをクリックします。
- 必要なタグのチェックボックスをオンにします。
- [Save] をクリックします。

Figure 6: 部屋の詳細

Room Details

Summary of room metadata from Digital Maps, added sensors, and other custom details.

Details from Digital Map

Name 7038

ID 179752fc-d5c4-49f1-b04b-8ac2c72cd1e2

Type Meeting Room

Sensors ⓘ

 People Count	☐ No Sensor	 Presence	☐ No Sensor	 Temperature	☒ Available
 Humidity	☐ No Sensor	 Noise	☐ No Sensor	 IAQ	☒ Available
 TVoC	☐ No Sensor	 CO2	☐ No Sensor		

Capacity

People

Tags

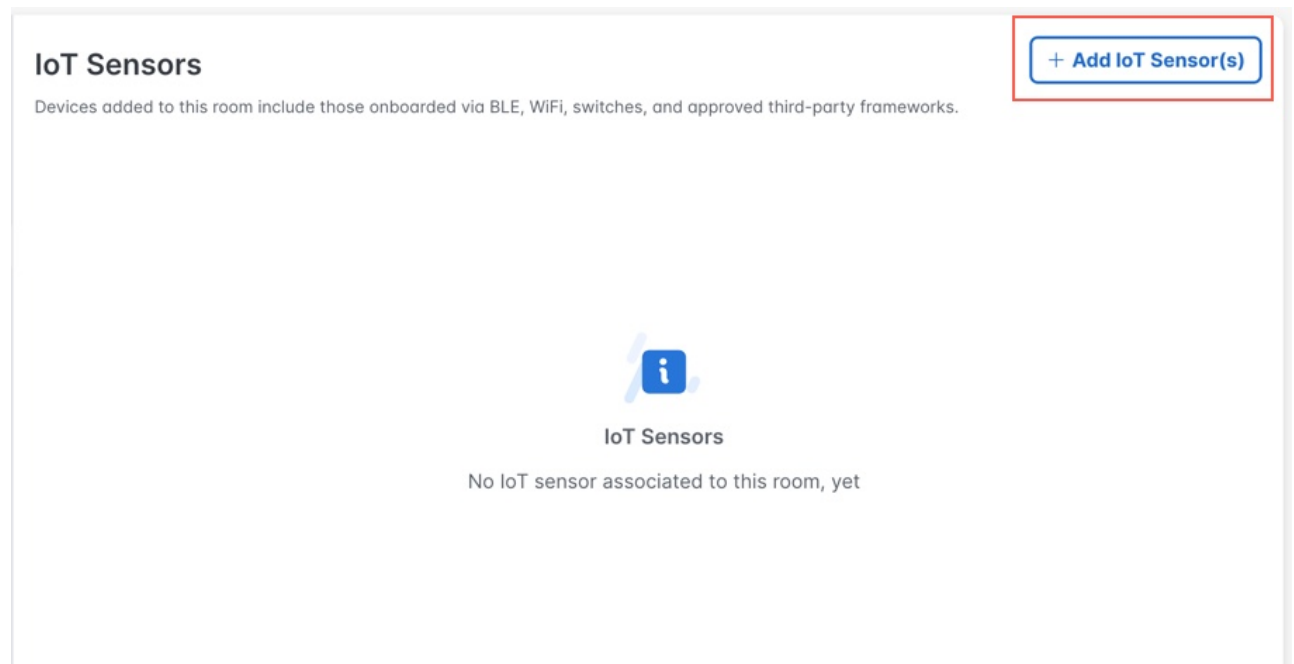
tag1 × tag2 × tag32 × × ▾

tag6 ×

Step 10

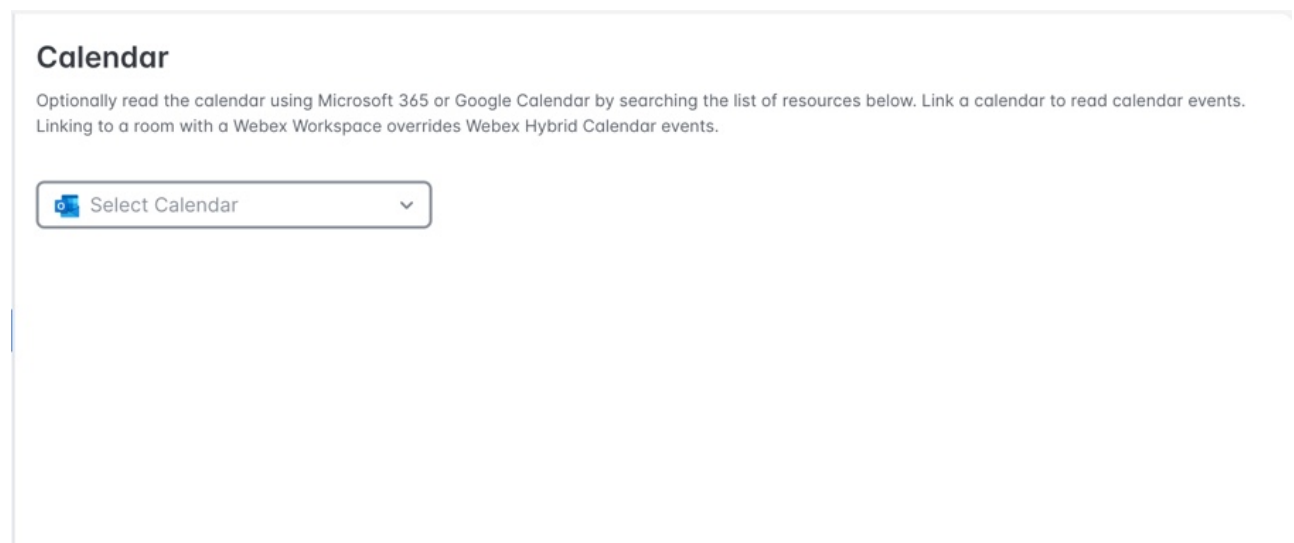
[IoTセンサー（IoT Sensor）] セクションで、[IoTセンサーの追加（Add IoT Sensor(s)）] をクリックして、選択した部屋に [IoT センサーデバイス](#) を関連付けます。

Figure 7: IoT センサー



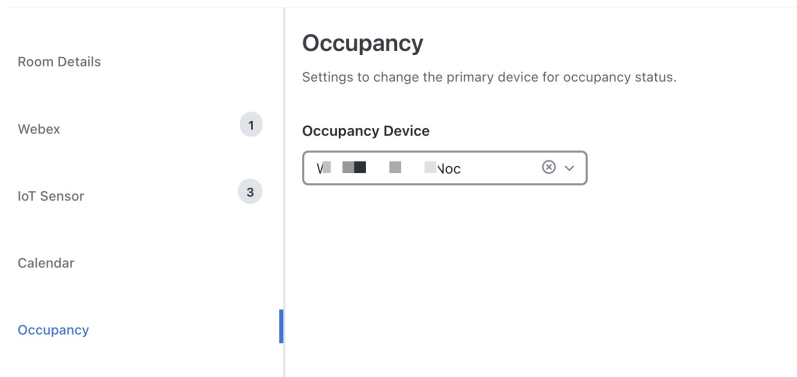
Step 11 [予定表（Calendar）] セクションで、[予定表の選択（Select Calendar）] ドロップダウンリストから、予定表を選択してリンクし、予定表イベントを読み取ります。

Figure 8: カレンダー



Step 12 [使用状況（Occupancy）] セクションで、プライマリデバイスの使用状況ステータスを更新します。

Figure 9: 占有率



- a) [使用状況デバイス（Occupancy Device）] ドロップダウンリストからデバイスを選択します。
- b) [使用状況タイプ（Occupancy Type）] を選択します。次のオプションがあります。
 - プレゼンス + 人数
 - 人数
 - プレゼンス

Step 13 [保存（Save）] をクリックして更新内容を保存します。

IoT センサーの追加

[IoTセンサーの追加（Add IoT Sensor(s）] ページで、管理者は、使用可能な IoT センサーデバイスを選択した部屋に関連付けることができます。このページには、ワークスペースの近隣で使用可能なすべてのデバイスが表示されます。

Procedure

- Step 1** [IoTセンサーの追加（Add IoT Sensor(s）] ページで、必要なデバイススタイルの横にあるチェックボックスをオンにします。

Figure 10: IoT センサーの追加

← Manage Rooms

8001

Q: [Room Name] Floor 7

← Back Add IoT Sensor(s)

Q Search

Device Type Sensors

The devices listed below are the devices that are available in your workspace vicinity.

☒ 469900-wired
WIRED

Location Q B S >

Sensor Type V

MAC Address 4

☐ TechOpsNoc

☐ ManualDevice

☐ Portal Beam2
N/A

Cancel Save

Please configure the floor map for this location.

Step 2 選択したデバイスについて、下矢印をクリックして詳細を表示します。

- 参照先
- センサータイプ
- MAC アドレス（MAC Address）

Step 3 左側パネルの上部で、以下のフィルタオプションを使用して、使用可能なデバイスのリストを絞り込むことができます。

- [検索（Search）] フィールドを使用して、名前または識別子でデバイスを検索できます。
- [デバイスタイプ（Device Type）] ドロップダウンリストから、[有線（Wired）] または [BLE] を選択して、カテゴリ別にデバイスをフィルタ処理します。
- [センサー（Sensors）] ドロップダウンリストから、必要なセンサー関連デバイスオプションを選択して表示を絞り込みます。

次のオプションがあります。

- 湿度
- AQI
- 天気
- 温度
- CO2

- プレゼンス

Step 4 ロケーションのフロアマップを設定します。

Step 5 [Save] をクリックします。

テーブルの設定

テーブルの設定を使用すると、行の間隔を調整し、表示する列を選択し、列の順序を調整することで、テーブルの外観とレイアウトをカスタマイズできます。

[テーブルの設定 (Table Settings)] にアクセスするには、[部屋の管理 (Manage Rooms)] ウィンドウの [設定 (Settings)] アイコンをクリックします。

Figure 11: テーブルの設定

Table settings ×

Table density

☐ Condensed

☒ Compact

☐ Comfy

☐ Spacious

Column settings

Select or deselect to show or hide columns. Reorder columns by dragging.

⋮ ☒ Room

⋮ ☐ Capacity

⋮ ☐ IoT Sensors

⋮ ☒ Occupancy Sensor

⋮ ☒ Calendar

Reset to default Cancel Apply

[テーブルの設定 (Table Settings)] スライドインウィンドウでは、次のアクションを実行できます。

テーブル密度の変更

[テーブル密度 (Table density)] エリアで、テーブル内の行の表示間隔を選択します。次のオプションがあります。

- [最小 (Condensed)]: 間隔を詰めてより多くの行を表示します。
- [コンパクト (Compact)]: バランスのとれた間隔で表示します。
- [快適 (Comfy)]: 読みやすくするためにパディングを追加します。
- [最大 (Spacious)]: 読みやすさを最大化するために最も広い間隔で表示します。

列の表示/非表示

[列の設定 (Column settings)] で、チェックボックスを使用して列の可視性を制御します。

- 列を表示するには、チェックボックスをオンにします。
- 列を非表示にするには、チェックボックスをオフにします。

利用可能なオプションは下記の通りです。

- 容量
- IoTセンサー (IoT Sensors)
- 人感センサー (Occupancy Sensor)
- カレンダー (Calendar)



Note [部屋 (Room)] 列は必須であり、非表示にすることはできません。

列の順序変更

[列の設定 (Column settings)] では、ドラッグハンドル (グリップアイコン) を使用して列をドラッグし、順序を変更できます。変更の適用後、新しい列の配置を反映してテーブルが更新されます。

変更内容の保存または破棄

設定パネルの下部で、以下をクリックできます。

- [適用 (Apply)]: 変更を保存し、テーブルを更新します。
- [キャンセル (Cancel)]: 保存せずにパネルを閉じます。

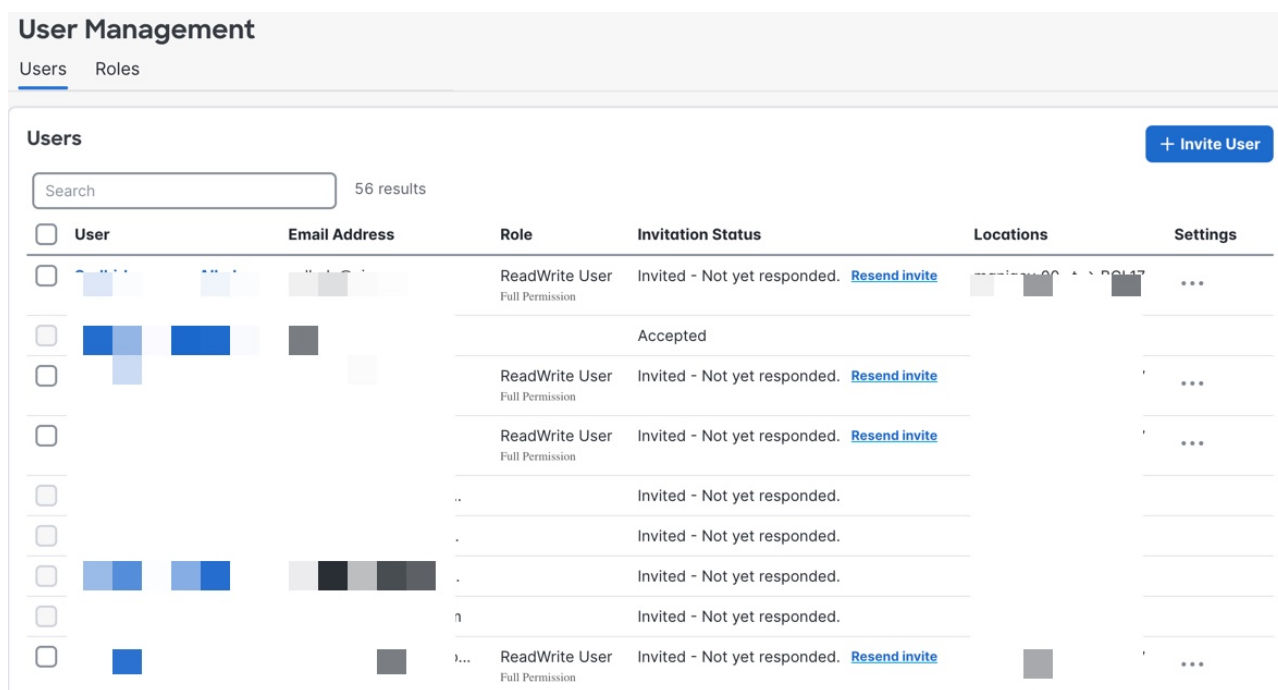
- [デフォルトにリセット (Reset to default)]: 密度、列、および列の順序に関するデフォルトの設定を復元します。

ユーザーの管理

Procedure

- Step 1** Cisco Spaces で、**[ダッシュボード（Dashboard）]** > **[Space Manager]**を選択します。
[Space Manager] ウィンドウが表示されます。
- Step 2** 左側のナビゲーションウィンドウで、**[User Management]** をクリックします。
[ユーザー管理（User Management）] が表示されます。

Figure 12: ユーザー 管理



- Step 3** [User Management] ウィンドウの [Users] タブをクリックします。
- Step 4** **Space Manager** アプリケーションを使用するために他の Cisco Spaces ユーザーを招待するには、[Invite User] をクリックします。
- Step 5** 以下のパラメータを指定します。
- a) ユーザーの Cisco Spaces アカウントに関連付けられている電子メールアドレスを入力します。
 - b) ユーザーのアクセス権限に応じたロールを選択します。[Read Write User]（フルアクセス）または [Read Only User]（読み取り専用アクセス）を選択できます。

Note

Space Manager で使用可能なユーザーロールを表示するには、**[ユーザー管理 (User Management)]** ウィンドウの **[ロール (Roles)]** タブをクリックします。

- ユーザーのアクセス権限に応じたロール。[Read Write User] (フルアクセス) または [Read Only User] (読み取り専用アクセス) を選択できます。
- Cisco Spaces で使用可能な [Location Hierarchy] からのロケーション。すべての場所を表示するには、[場所の選択 (Choose Locations)] をクリックします。

Step 6 [Send Invitation] をクリックします。

Step 7 既存のユーザーを削除するには、[Users] テーブルで、目的のユーザーを選択して [Delete] をクリックします。
[Users] テーブルが表示され、使用可能なユーザーと割り当てられたロールが一覧表示されます。



CHAPTER 3

Space Experience

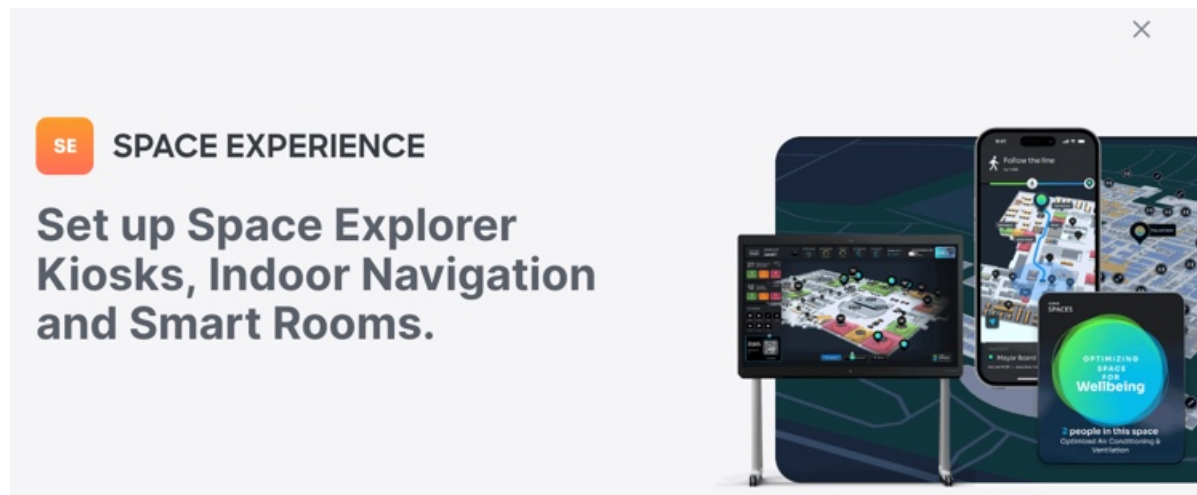
- [Space Experience の概要, on page 17](#)
- [サイネージデバイスの管理, on page 19](#)
- [ユーザーの管理, on page 27](#)

Space Experience の概要

Space Experience アプリケーションでは、Cisco Spaces を使用して、職場の会議室、フロア、および建物全体でデジタルサイネージのオンボード、設定、および管理を行うことができます。

このアプリケーションを使用して、Cisco Webex のサイネージと Cisco Webex 以外のサイネージでテレメトリパラメータを設定して公開することもできます。これらの更新は、それぞれのサイネージに自動通知されます。

Figure 13: Space Experience



About the App

The Space Experience app brings together multiple smart workplace solutions — including Space Explorer Kiosks and a Web App that give users a spatial view of buildings to easily find and book rooms, desks, and points of interest. It also powers Indoor Navigation for precise, turn-by-turn directions and enables Smart Rooms that automatically adjust ventilation and air quality to improve comfort and energy efficiency.



Space Experience アプリケーションは、次のライセンスタイプに関連付けられています。

- ACT (UI では [Advantage] と表示)
- UNLIMITED
- PREMIER_W
- PREMIER_CW

サイネージデバイスの管理

Procedure

- Step 1** Cisco Spaces で、[ダッシュボード（Dashboard）]>[Space Experience]を選択します。
[Space Experience] ウィンドウが表示されます。
- Step 2** 左側のナビゲーションウィンドウで、[マイサイネージ（My Signages）]をクリックします。
- Step 3** [非Webexデバイス（Non-Webex Devices）]タブをクリックします。
- Step 4** サイネージ固有の手順については、トピック「[Webex 以外のサイネージのセットアップ, on page 19](#)」記載の手順に従ってください。

Webex 以外のサイネージのセットアップ

このタスクでは、**Space Experience** アプリケーションを使用して 非 Webex デバイスを設定し、サイネージで **Cisco Smart Workspaces** をアクティブ化する方法について説明します。

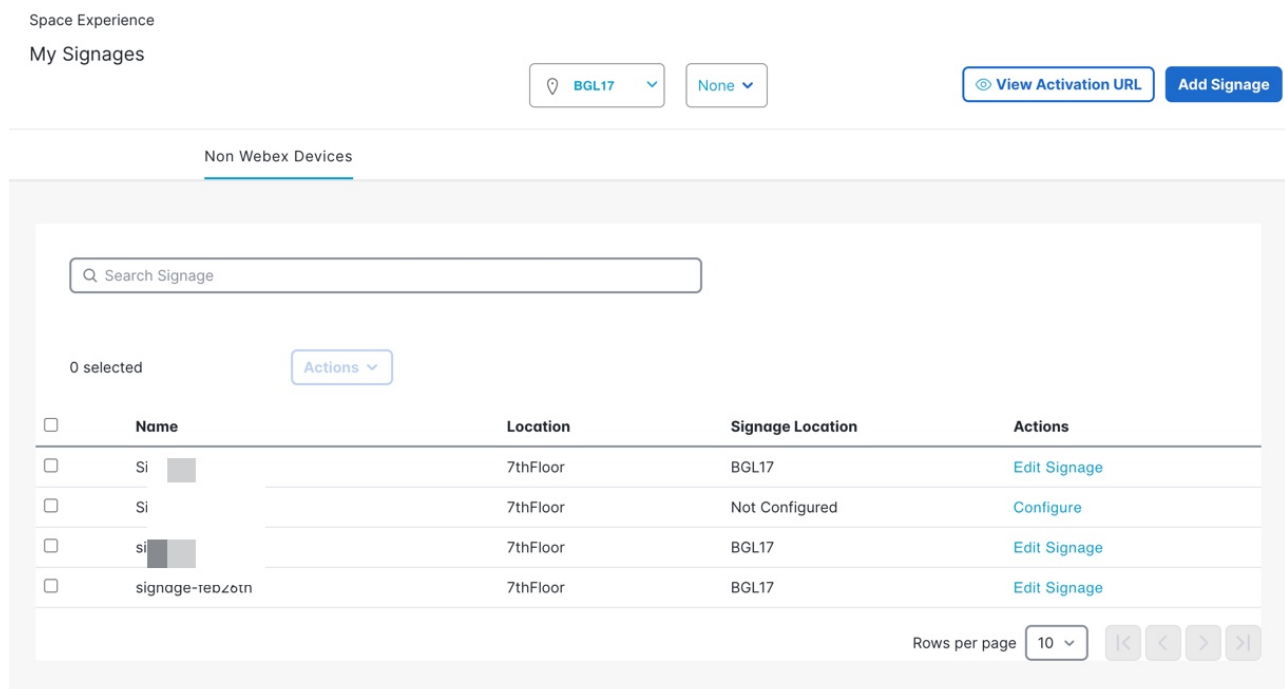


Note 非 Webex デバイスで実行されるテストは限定的で、シスコではそれらのデバイスの互換性を認定していません。デバイスのブラウザまたはサイネージアプリケーションが WebGL をサポートしていることを確認します。[WebGL リンク](#)にアクセスして、互換性を確認できます。これは独自開発オプションであり、ユーザーが自分でテスト、メンテナンス、およびモニタリングを行う必要があります。一部のサイネージディスプレイでは、Cisco Spaces サイネージ Web アプリケーションをロードするために、Room Kit Mini、ミニ PC、または統合ブラウザやサイネージアプリケーションを搭載した別のコンピュータなどのホストデバイスが必要である場合があります。

Procedure

- Step 1** Cisco Spaces で、[ダッシュボード（Dashboard）]>[Space Experience]を選択します。
[Space Experience] ウィンドウが表示されます。
- Step 2** 左側のナビゲーションウィンドウで、[マイサイネージ（My Signages）]をクリックします。
- Step 3** [マイサイネージ（My Signages）]ページで、[非Webexデバイス（Non-Webex Devices）]タブをクリックします。
[サイネージ（Signages）]テーブルが表示され、既存の非 Webex サイネージとそのロケーションが一覧表示されます。[検索（Search）]フィールドを使用して、サイネージを検索します。
- Step 4** フィルタオプションのドロップダウンリストから、建物とフロアを選択します。

Figure 14: Space Experience アプリケーション



- Step 5** 非 Webex サイネージのアクティベーションコードを生成するには、[アクティベーションURLの表示（View Activation URL）] をクリックします。
- Step 6** サイネージをアクティブにするには、ブラウザでこの URL をコピーして、サイネージに対して貼り付けます。
- Step 7** [サイネージの追加（Add Signage）] をクリックして、**新しいサイネージを追加します**。
新しいサイネージが [マイサイネージ（My Signages）] ページに表示されます。
- Step 8** 新しいサイネージを設定するには、[設定（Configure）] をクリックし、**画面に表示される指示に従います**。
- Step 9** （オプション）以下のアクションを実行します。
- サイネージの横にあるチェックボックスをオンにし、[アクション（Actions）] ドロップダウンリストから [削除（Delete）] を選択して、選択したサイネージを削除します。
 - サイネージの横にあるチェックボックスを選択し、[アクション（Actions）] 列で [サイネージの編集（Edit Signage）] をクリックして、サイネージの詳細を更新します。

サイネージの追加

このタスクでは、**Space Experience** を使用して非 Webex サイネージを追加する方法を示します。

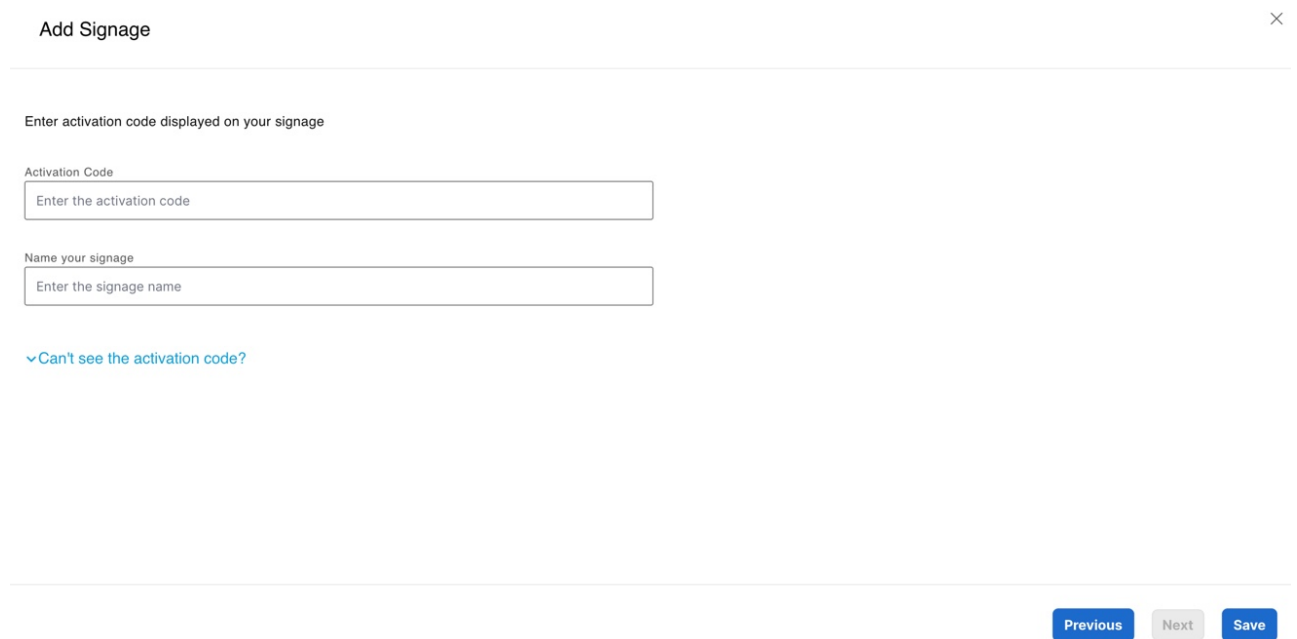
Procedure

Step 1 Space Experience アプリケーションで、[マイサイネージ (My Signages)] タブをクリックします。

Step 2 [非Webexデバイス (Non-Webex Devices)] タブをクリックします。

Step 3 [サイネージの追加 (Add Signage)] をクリックします。
[サイネージの追加 (Add Signage)] ウィンドウが表示されます。

Figure 15: サイネージの追加



Step 4 次の詳細を入力します。

- [アクティベーションコード (Activation Code)] フィールドに、アクティベーションコードを入力します。
- アクティベーションコードを表示できない場合は、[アクティベーションコードが表示されない場合 (Can't see the activation code?)] ドロップダウンをクリックして URL をコピーし、サイネージで Web ブラウザを起動して URL を貼り付けます。
サイネージ Web ブラウザでアクティベーションコードが生成されます。
- [サイネージに名前を付ける (Name your signage)] フィールドに、サイネージの新しい名前を入力します。

Step 5 [Save] をクリックします。

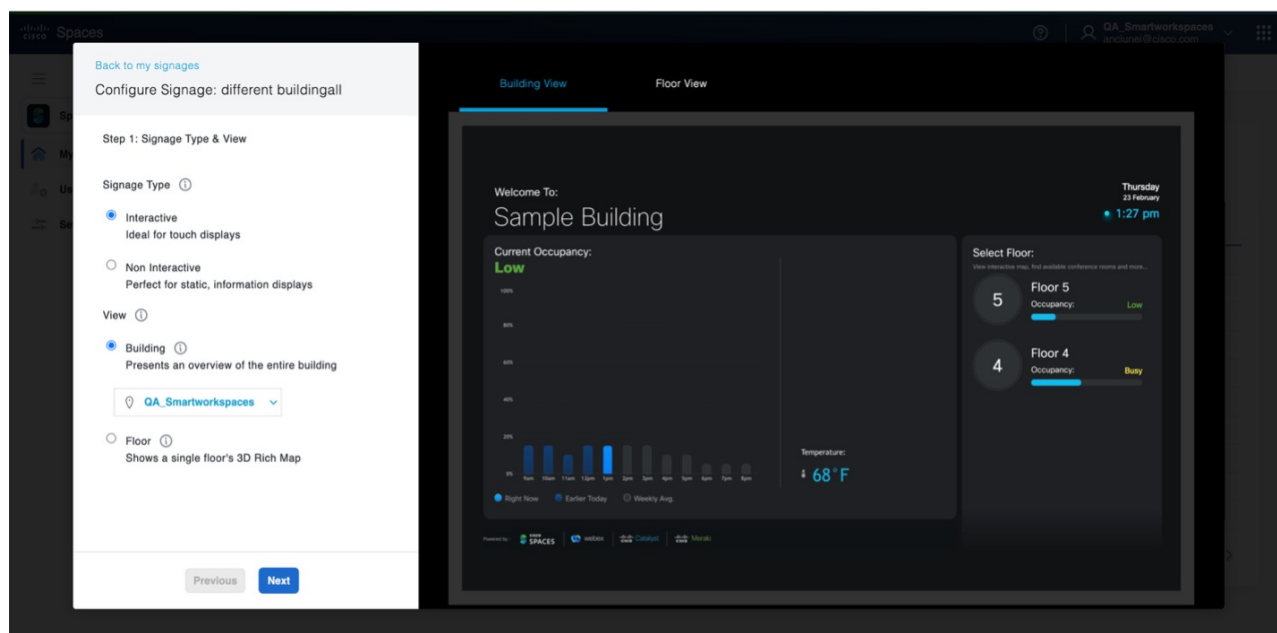
サイネージの設定

[サイネージの設定 (Configure Signage)] ページを使用して、デジタルサイネージの表示を設定し、建物/フロアビューで結果をリアルタイムでプレビューします。

Procedure

- Step 1** 新しいサイネージを設定するには、[設定 (Configure)] をクリックします。
- [建物ビュー (Building View)] と [フロアビュー (Floor View)] の 2 つのタブがある [サイネージの設定 (Configure Signage)] ページが表示されます。
- Step 2** [サイネージタイプとビュー (Signage type & view)] エリアで、サイネージタイプとビューの詳細を設定します。
- サイネージタイプを選択します。オプションは、[インタラクティブ (Interactive)] と [非インタラクティブ (Non Interactive)] です。
 - サイネージビューを選択します。オプションは [建物 (Building)] と [フロア (Floor)] です。
 - [場所 (Location)] ドロップダウンリストで、場所を選択します。
 - [緯度経度のオーバーライド (Override Lat Long)] チェックボックスをオンにして、値をオーバーライドします。マップ上の場所の緯度と経度の値を入力します。これらの値は、[緯度経度のオーバーライド (Override Lat Long)] オプションをオンにした場合は必須です。
 - [次へ (Next)] をクリックして次の手順に進みます。

Figure 16: ステップ1: サイネージのタイプと表示



Step 3 [ウィジェットの設定 (Configure Widgets)] エリアで、サイネージに表示するウィジェットのチェックボックスをオンにします。

a) ウィジェットのチェックボックスのオプションを確認します。んゆう

- [使用状況 (Occupancy)]: サイネージに使用状況ステータスと使用状況の傾向を表示します。
- [屋内空気質 (Indoor Air Quality)]: サイネージに屋内空気室情報を表示します。
- [CO2レベル (CO2 Level)]: サイネージに CO2 の測定値/インジケータレベルを表示します。
- [温度 (Temperature)]: サイネージに温度を華氏または摂氏で表示します。
- [湿度 (Humidity)]: サイネージに湿度情報を表示します。
- [対象ポイント (POI) (Point of Interest (POI))]: サイネージに POI 関連のコンテンツを表示します。

Figure 17: ステップ 2: ウィジェットの設定 - 建物ビュー

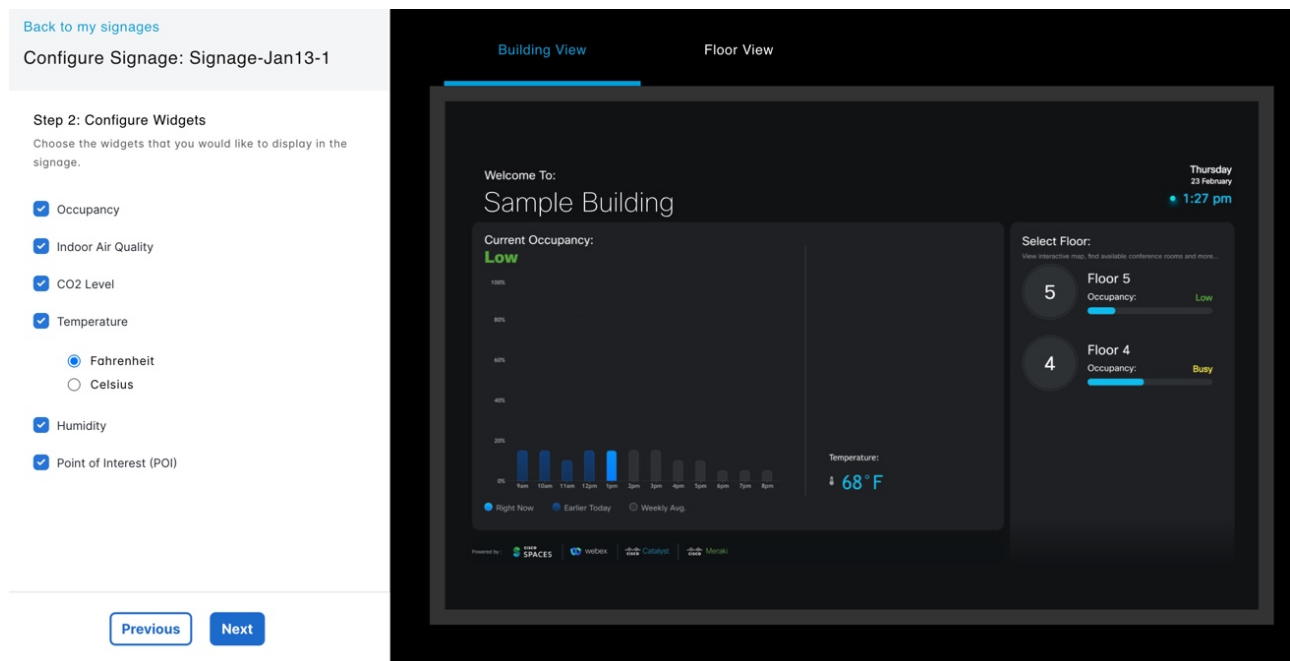
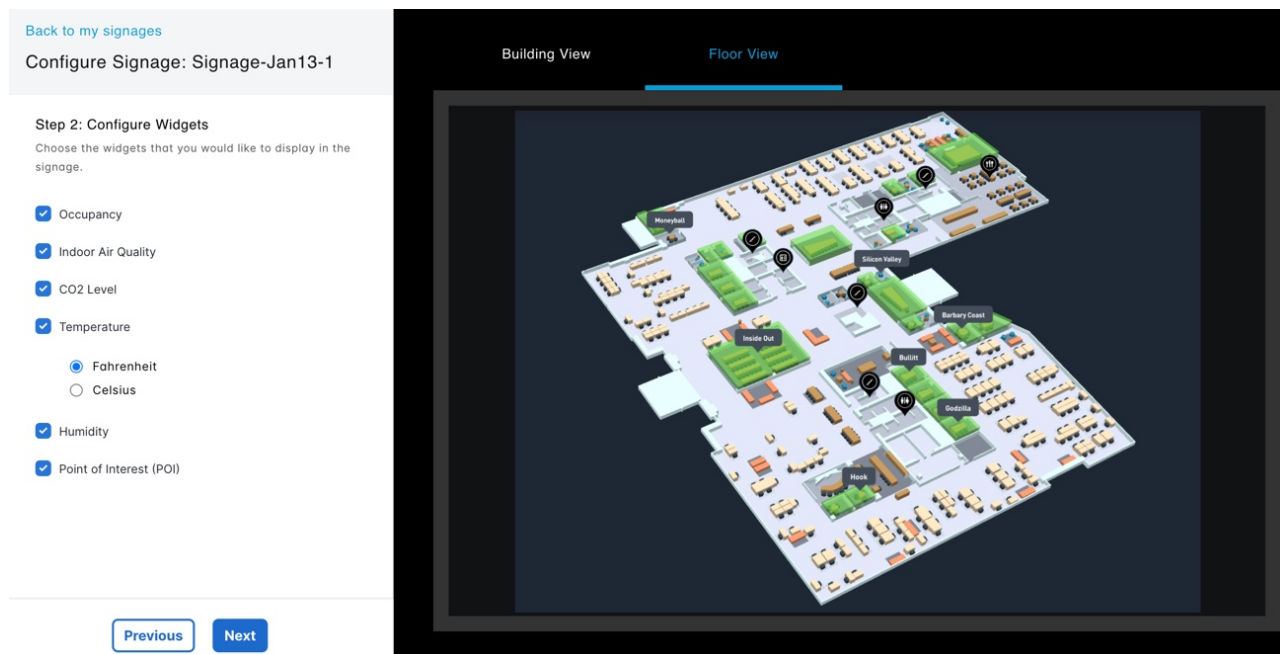


Figure 18: ステップ 2: ウィジェットの設定 - フロアビュー



b) [次へ (Next)] をクリックして次の手順に進みます。

Step 4

[デフォルトマップビューの設定 (Set the default map view)] エリアで、使用可能なコントロールまたは右側のペインを使用して、リッチマップのデフォルトの視点を変更します。

a) 次のマップビュー設定を構成します。

- [ピッチ (Pitch)]: 矢印を使用して値を設定します。
- [方位角 (Bearing)]: 矢印を使用して値を設定します。
- [ズーム (Zoom)]: 矢印を使用して値を設定します。

b) (オプション) 設定済みのマップビュー設定をシステムのデフォルト値に戻すには、[デフォルトにリセット (Reset to defaults)] をクリックします。

c) [フロアのプレビュー (Preview Floor)] ドロップダウンリストから、フロアを選択します。

d) [マップロケーションの緯度 (Map Location Latitude)] と [マップロケーションの経度 (Map Location Longitude)] の値を表示します。

e) [次へ (Next)] をクリックして次の手順に進みます。

Figure 19: ステップ3: デフォルトのマップビューの設定

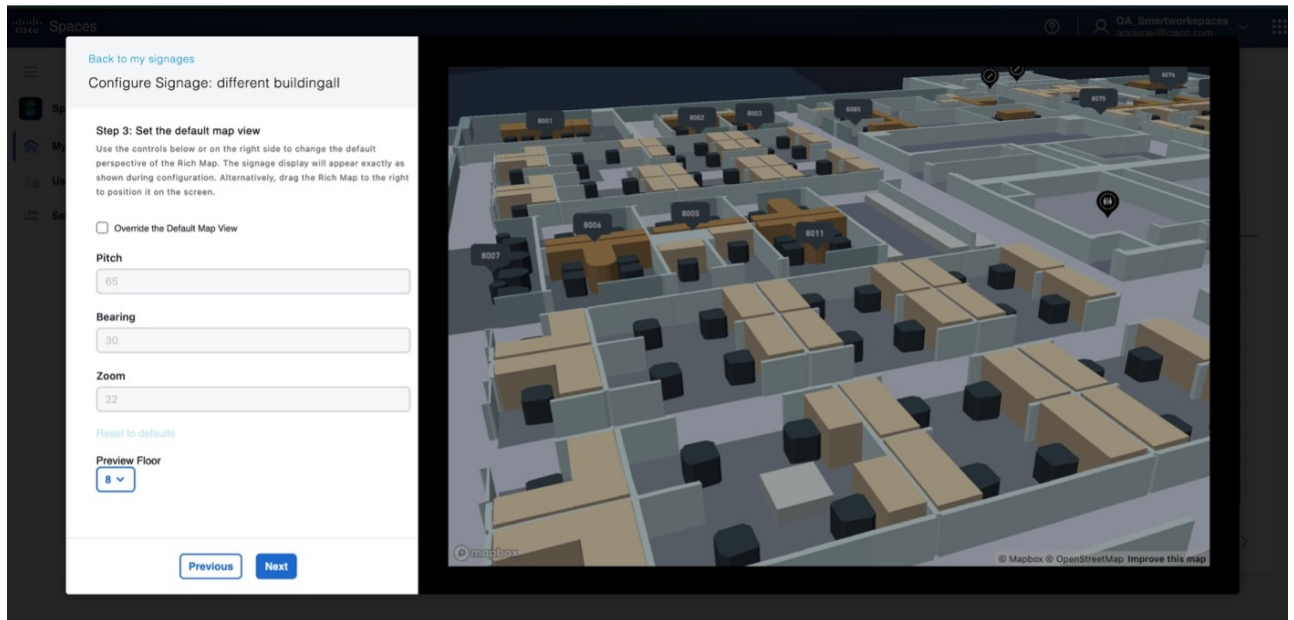
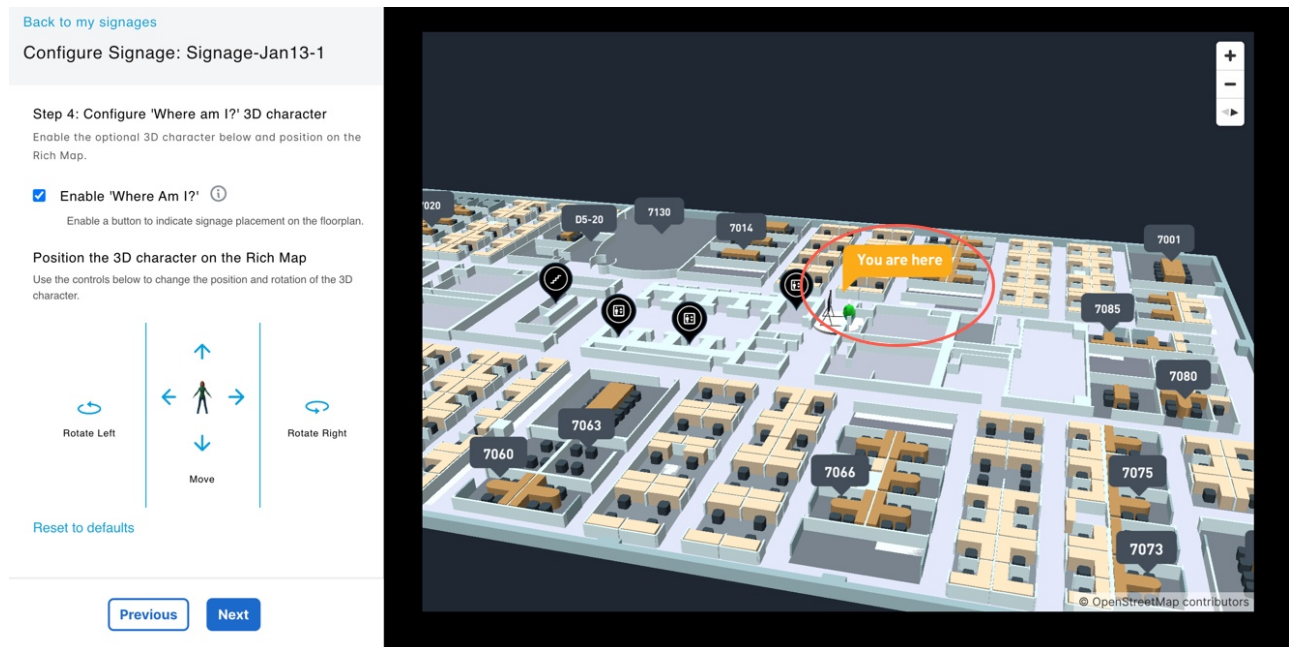


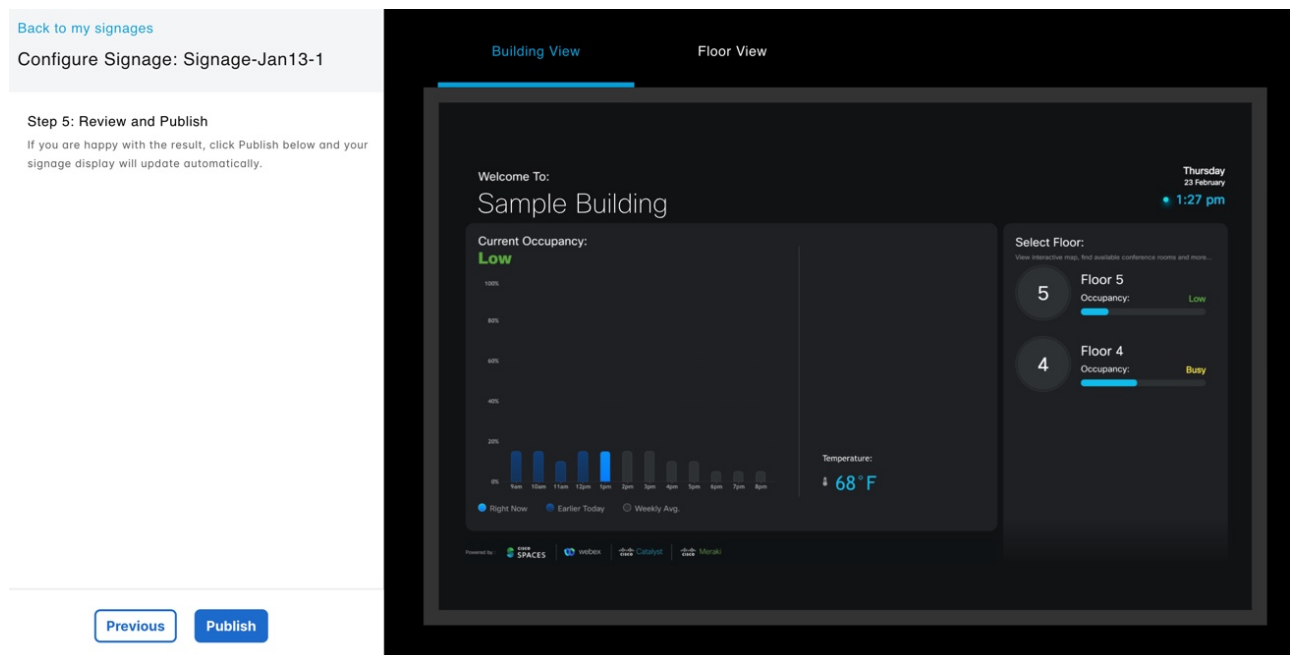
Figure 20: ステップ4: [現在の場所] 3Dキャラクターの設定



Step 6

[確認と公開 (Review and Publish)] エリアで、サイネージ設定を確認し、[公開 (Publish)] をクリックします。

Figure 21: ステップ5: 確認と公開



What to do next

サイネージの設定は公開されます。[マイサイネージ (My Signages)] ページにサイネージが表示されます。[サイネージの編集 (Edit Signage)] をクリックして、サイネージを更新および再公開できます。

ユーザーの管理

Procedure

-
- Step 1** Cisco Spaces で、[ダッシュボード (Dashboard)] > [Space Experience]を選択します。
[Space Experience] ウィンドウが表示されます。
- Step 2** 左側のナビゲーションウィンドウで、[User Management] をクリックします。
- Step 3** [User Management] ウィンドウの [Users] タブをクリックします。
- Step 4** **Space Experience** アプリケーションを使用するために他の Cisco Spaces ユーザーを招待するには、[Invite User] をクリックします。
- Step 5** 以下のパラメータを指定します。
- a) ユーザーの Cisco Spaces アカウントに関連付けられている電子メールアドレスを入力します。
 - b) ユーザーのアクセス権限に応じたロールを選択します。[Read Write User] (フルアクセス) または [Read Only User] (読み取り専用アクセス) を選択できます。
- Note**
Space Experience で使用可能なユーザーロールを表示するには、[ユーザー管理 (User Management)] ウィンドウの [ロール (Roles)] タブをクリックします。
- c) すべての場所を表示するには、[場所の選択 (Choose Locations)] をクリックします。Cisco Spaces で使用可能な [場所の階層 (Location Hierarchy)] の場所が表示されます。
- Step 6** [Send Invitation] をクリックします。
- Step 7** 既存のユーザーを削除するには、[Users] テーブルで、目的のユーザーを選択して [Delete] をクリックします。
[Users] テーブルが表示され、使用可能なユーザーと割り当てられたロールが一覧表示されます。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。